

「XX ファースト」を糾弾しよう！

いま世界は「XX ファースト」と称する、ポピュリズムを助長するような上に立つべき低俗な政治家が蔓延し始めている。極めて危険な兆候であり、良識のある国民は、断固阻止・糾弾しなければならない。単に選挙の票が欲しいだけの宣伝文句で、何の崇高な理念も表していない。

自分たちさえ良ければいい、というエゴそのものであり、米国前大統領の目指した「寛容と協調の世界」からどんどん遠ざかりつつある。

北朝鮮の弱小国が、存在感を誇示するために核とミサイルを保有するのは（断固反対であるが）理解できる。指導的立場にある大国の中国、ロシアがこの問題に「核廃絶という人類の崇高な理念」をそっちのけで、「どうふるまうのが、自国に有利になるか」という行動しかとれないのは情けない。それぞれ深刻な国内問題、近隣との摩擦をかかえていることからやむを得ないことは分かるが・・・

わが国だって、人のことを言えない。国粹主義を振りかざす現政権への批判は国内にもある。

世界はエゴ・対立の流れを受けて。不安にかられて軍拡競争に走り始めた。日本は同じように、それに流されてはならない。さすが核を保有すべきという意見は、極小（1%以下？ 隣国では一桁多そうである）であるが、今でこそ、その流れに半分は乗っかりながらも、別の理念「地球ファースト、もしくは人類ファースト」を愚直に主張し続けるべき。

近年、自然災害(*1)の猛威が世界を頻繁に脅かしている。神(*2)が人類に警告を発しているものと考えられる。争い合っている余裕はないはずだ。「防災日本(*3)」を国家理念の基軸とし、世界に貢献すべき。

以上

(*1) 温暖化に起因するものは長期的な人為災害ともいえる。

(*2) 理神論（デイズム）でいう神のつもり。

(*3) 参照 http://www.sparj.com/kojimemo/KojiMemo31_BousaiJapan.pdf